

「運動遊びガイドブック」 作成にあたって

京都府教育委員会では、小学生の段階で身に付けておくべき身体動作がどの程度獲得できているのかを把握するための指標として、「京の子ども元気なからだスタンダード（小学校中学年対象 平成22年3月）」及び「スタンダードPLUS+（小学校高学年対象 平成25年3月）」を作成し、子どもの体力・運動能力の向上を図るとともに生涯にわたってスポーツに親しむ資質や能力の育成に努めているところです。

本ガイドブックは、幼児期の子どもの運動遊び例を6項目に分類し、体を動かす楽しさや心地よさを実感させながら、自発的に体を動かして遊ぶ機会を増大させ、基本的な動きの獲得及び運動習慣の確立につなげていくことをねらいに作成しています。また、家庭での運動遊びも重要であることから「親子で行う運動遊び」や「生活場面での体力向上」についても示しています。

子どもを取り巻く生活環境が著しく変化し、体力低下の要因として、運動・スポーツや外遊びに不可欠な要素である三間（時間・空間・仲間）の減少が指摘される中、本ガイドブックを参考にさせていただき、子どもの体力・運動能力の更なる向上が図られることを大いに期待しています。

結びに当たり、本ガイドブック作成に御協力いただきました、各関係機関の皆様方に厚くお礼申し上げます。

平成29年3月

京都府教育庁指導部保健体育課長

目次

第1章	運動遊びガイドブックについて	1
1	「運動遊びガイドブック」	1
2	「幼児期の運動遊び」	2
3	「幼児期の運動遊びと小学校への系統性」	5
第2章	運動遊び例	
1	「走ったり跳んだりする運動遊び」	8
2	「ボールを使った（投げたり・蹴ったり）運動遊び」	14
3	「ボールを使った（操作）運動遊び」	21
4	「全身を使った運動遊び」	25
5	「バランスをとる運動遊び」	34
6	「力いっぱい行う運動遊び」	40
7	「友達と一緒にいる運動遊び」	45
8	「親子で行う運動遊び」	46
9	「遊具を使って行う運動遊び」	47
10	「生活場面での体力向上」	48